

南アルプス市 平成 23 年度

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

22年度事業 事後評価

作成日 H 24 年 2 月 17 日作成

事務事業名	全国美術館会議参画事業			所属部局 教育委員会 所属課室 市立美術館 所属担当 美術館総務	単位番号	12485	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				課長名	秋山弘	
					担当者名	秋山弘	
基本政策	基 本 計 画 政 策 施 策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目 会計 01 一般	目	細目	細々目
		22	生涯学習ネットワークの整備充実		款	項	目
		35	生涯学習システムの推進		0	1	0
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 3 年度）			事業区分 事業	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（～ 年度）				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業	<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業	<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金
事業の内容	・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載。 美術作品やそれに関わる資料を情報収集、保存、研究、公開しながら、展示や教育普及活動を地域社会と連携し、活動を根付かせる。総会、研修会、研修部会などを毎年開催し、その成果を会員団体や広く美術関係者の方々と共有することを目的とする。これらの活動に対して、全国の美術館が多数所属する全国組織に参画する事業。			法令根拠			
事 務 事 業 の 概 要	事業費の主な内訳（22年度）			項目(細節)	金額(十円)	項目(細節)	金額(十円)
	その他負担金 30						
							30

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	
22年度活動実績	アンケート、研修会、総会シンポジウムの開催
23年度活動予定	アンケート、研修会、総会シンポジウムの開催
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
全国の美術館	
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
他の美術館の活動内容の把握、専門知識・情報・資料の提供等を受けることができる	
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
魅力ある美術館運営を行い、芸術・文化の推進を図る	

➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 アンケート調査の回数 シンポジウムの開催回数 ワ	単位 回数 回数
➡	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 会員数 イ ワ	単位 団体
➡	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 調査報告書の数 イ ワ	単位 冊数
➡	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 美術館に入館した人の数 イ	単位 人数

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	財源内訳	国庫支出金 県支出身 地方債 その他	千円 千円 千円 千円						
	事業費	一般財源	千円	50	30	98	98	98	98
	人件費	事業費計 (A)	千円	50	30	98	98	98	0
	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	1 8	1 8	1 8	1 8	1 8	1 8
	人件費	人件費計 (B)	千円	36	36	32	32	32	0
		(A)+(B)	千円	86	66	130	130	130	0
活動指標		ア イ ウ	回数	1.0 1.0 1.0	1.0 1.0 1.0	1.0 1.0 1.0	1.0 1.0 1.0	1.0 1.0 1.0	
対象指標		ア イ ウ	団体	348.0	363.0	363.0	363.0	363.0	363.0
成果指標		ア イ ウ	冊数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
上位成果指標		ア イ	人数	5,324.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年に日本の美術館がともに考え、ともに行動することを目指して設立された
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか？また、今後の予測は？	大きな変化はなし
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】 全国美術館会議参画事業に改善の必要がないと思う。
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	無し

事務事業名	全国美術館会議参画事業	所属部	教育委員会	所属課	市立美術館
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 他館の活動等を知る機会になっている
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 美術館の運営上、他館との結びつきは大切である
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 適切である
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 向上の余地なし
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 全国の美術館の様子を知る機会が減ってしまう
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ギリギリの予算であるため削減の余地なし
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ほとんど人件費がかからないため
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	他館との情報交換ができるので参考になる
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																			
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																			
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																			
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																			
(2) 改革改善案について	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
	コスト水準																			
	削減	維持	増加																	
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
低下	<input type="checkbox"/>																			
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果																			
①無し	成果優先度評価結果																			
②	対象外																			
③	対象外																			
④	コスト削減優先度評価結果																			
⑤	対象外																			